

会長

北井 孝彦

(東大阪みどりRC)

IM実行委員長

浜田 秀雄

(東大阪みどりRC)

テーマ 「見直そう、日本の教育」～次代を担う子どもたちのために～

主催：R1第2660地区 大谷 透G、IM第4組 鈴木 洋G補佐

ホスト：東大阪みどりRC

日時：2009年10月31日(土) 午後1時30分 場所：シェラトン都ホテル大阪

参加クラブ：八尾RC、大阪柏原RC、八尾東RC、八尾中央RC、東大阪RC、東大阪東RC、
東大阪中央RC、東大阪西RC、大阪ネクストRC、東大阪みどりRC

登録者数：442名 出席者数：310名

昨年10月4日、我がクラブの10周年記念式典を無事終えることができました。その安堵の余韻に浸る間もなく、すぐさまIMの企画に取りかかりました。テーマは、当クラブが創立以来関心を持って取り組んできた「教育」に決定をしました。

基調講演には、戦前の日本はすべて悪であり、まるでそれがタブーである如く素晴らしい面にも目を向けようとする輩が多いマスメディアの中にあり、日本人より日本の良いところをよく知りズバリ指摘していただいている台湾人である金美齡先生に決定。パネルディスカッションは、コーディネーターにプール学院大学中村健教授、パネラーに東大阪市立枚岡東小学校神野ちどり校長、東大阪市教育委員会教育次長の乾公昨氏、当クラブ会長エレクト・社会福祉法人若宮保育園理事長杉森隆志会員にお願いしました。

基調講演は、金先生の誰よりも丁寧な心のこもった国旗へのお辞儀に始まり、RCとは大変ご縁が深くご主人が米山奨学生であったこと、理事長をなさっている日本語学校の生徒も米山奨学生が多くいること等、RCには大変感謝なさっておられました。『日本が子どもたちに教えなかったこと』をテーマに戦後日本が子どもたちに教えてこなかったことは「感謝の気持ち」であるとお話し

なられました。愛国心のなさや公德心のなさ等問題は、すべてここから始まっているのではないのでしょうか。また、パネルディスカッションでは、中村先生・神野先生・乾先生は、共に東大阪市の小中学校の現場で教職についておられたこともあり息もピッタリ。また杉森会員は、保育園の理事長。各々の立場から現場の姿や問題点の指摘、そして今後、幼・小・中・高・大学教育の連携並びに地域との連携が重要であること、そしてロータリアンへの要望等についての有意義な討論をしていただきました。第二部の懇親会では、会場のあちこちで交流の華を咲かせていただきました。

当日は、主催者である大谷G、松本Gエレクト、鈴木G補佐、山片G補佐エレクトの他、戸田・菅生・吉川・井上・宮田・神崎PG、岡部Gノミニ、岡田G補佐ノミニの来賓の皆様、一般オブザーバーの方々、そして多くのメンバーの参加をいただき開催できましたことは、ホストクラブとしてこの上ない慶びとなりました。

最後に懇切丁寧にご指導いただきました鈴木G補佐様、常に暖かいご協力をいただきましたIM第4組の各会長・幹事様に心より感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。(感謝!)

